



令和5年5月13日

補習校だより

No.2 文責 中村清忠

11時台

西野亮廣さんという方が大学の卒業式でスピーチした内容がある冊子で読みました。今日は、その一部を記します。

時計には長針と短針があって、あいつらは1時間に1回重なるんです。

1時5分で重なって、

2時10分で重なって、

3時15分で重なって、

毎時、1回重なるようにできているんですけど、11時台だけは重ならない。

11時台だけは短針が先に逃げちゃって重ならないんですよ。

次に二つの針が重なるのは12時の鐘が鳴るときですね。

伝えたいメッセージは何かというと、鐘が鳴る前には報われない時間があるということ。これは僕にもあったし、今後、皆さんにも必ずある。

人生における11時台っていうのは、必ずある。

でも、大丈夫。

時計の針というのは必ず重なる。

だから、挑戦してください。

このメッセージを私自身が大学生になった気持ちで読んでいました。そして、努力をすれば必ず鐘はなるというメッセージを受け取り、それを補習授業校の皆さんに伝えたいという思いで紹介しています。

学校が始まってもうすぐ1か月、現地校等での勉強と補習校での勉強、その他さまざまな習い事があり、頭も体も悲鳴をあげているのではないですか。もしかしたら、もう限界、なんて思っている人はいませんか。そんなときは、深呼吸して、ちょっとだけ休みましょう。そうすると、落ちついてきます。そうしたら、ゆっくりと一步一步進みましょう。だんだんリズムができ、自分の力を発揮することができます。

12時の鐘は必ず鳴ります。だから、あきらめず、前へ。

—お知らせ—

帰国生のための学校説明会・相談会について

帰国児童・生徒を対象として海外子女教育財団主催の「帰国生のための学校説明会・相談会」がオンラインで開催されます。URLをご紹介しますのでご活用ください。

https://www.joes.or.jp/kojin/kokunai_setsumeikai

